

「災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会」

委員公募のお知らせ

研究企画委員会

標記研究小委員会の設立が理事会にて承認を受けましたので、会員の皆様に委員の公募を行います。以下の設立に関する事項をご理解の上、参加ご希望の方はお申し込みください。

なお、同様の公募資料は次号学会誌(第47巻第5号 2007年2月)に掲載予定です。

(設立趣意)

我が国は地質状況、気象状況などから災害の起こりやすい環境にあります。我が国では災害に対して多くの予防・防災処置が取られていますが、災害に伴って発生する廃棄物(災害廃棄物)の処理・処分計画については、未だ十分な状況下にはありません。

一方、災害廃棄物の循環システムとしては、一時期に多量に発生する廃棄物を、迅速かつ安全に処理し、適正な資源化と有効利用を行った後に、最終処分する仕組みを構築する必要がありますが、災害廃棄物の循環フローを考えたような研究・開発はこれまでほとんど行われてきていません。

また、中長期にわたり放置された災害廃棄物等に伴うリスクとして、防災面では、廃棄物の腐敗・腐食による地盤の強度低下に伴い、斜面等の不安定化、地盤沈下や地盤陥没などが生じる可能性が考えられます。一方、地盤環境面としては、廃棄物の腐敗・腐食を原因とする発熱・火災による不完全燃焼に伴うダイオキシン類の発生、同じく腐敗・腐食による重金属類の溶出に伴う地下水・土壤汚染の問題が生じる可能性も懸念されます。このように、災害廃棄物に関しては、環境面・防災面の両方に関連して取り扱うべき問題があります。

こうした問題に対応するための調査技術、対策技術、リサイクル技術について検討し、災害廃棄物への対応に関するマニュアルを策定することを目的として、本研究小委員会の設立を企画しました。

具体的な活動の目標は次のとおりです。

- 1) 現状の把握と分析：現状の災害廃棄物等の情報収集とその整理・分析
- 2) 適切な調査手法・対策手法の検討：簡易・詳細調査手法、簡易対策手法、本対策手法についての適用性に関する検討
- 3) マニュアル等策定のための基準作成：調査・対策に関すること、災害時の対応に関する基準(仮置き場の選定手法、適正管理手法、リスク対応手法)に関すること、災害廃棄物等のリサイクルシステムの構築に関すること、についての基準・考え方・方策の提示
- 4) 長期放置廃棄物の防災・環境リスクに関する提言：長期に放置された災害廃棄物等の防災及び環境面へのリスクに関する学会としての提言

つきましては、これらの問題に関心のある方の委員会への参加を下記により募集いたします。

- 記 -

委員会名：災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会

委員長候補：登坂博行(東京大学大学院)

委員予定数：約20名

委員会活動期間(予定)：平成19年度～平成21年度(3年間)

申し込み方法：e-mail、Fax、郵送のいずれかによる

申し込み先：日本応用地質学会事務局内

「災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会」設立準備会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14 御茶ノ水桜井ビル
e-mail KYW04560@nifty.com Fax 03-3259-8233

申し込み期限：平成 19 年 3 月 9 日(金)

以 上